

第17回大気化学シンポジウム プログラム

口頭発表

1月10日

				中国泰山集中観測	座長: 大島長
13:10	13:35	0:25	K-1	中国泰山集中観測: オゾン・エアロゾル総合観測の概要と初期成果	金谷有剛、ポチャナート・バクボン、劉宇、駒崎雄一、入江仁士、滝川雅之、庭野将徳、山地一代、秋元肇(FRCGC/JAMSTEC)、Jeeranut Suthawaree、加藤俊吾(首都大学東京)、谷本浩志、猪俣敏(環境研)、奥沢和浩、Shankar Aggarwal、河村公隆(北大低温研)、王自癸(中国科学院大気物理研)、泰山集中観測サイエンスチーム
13:35	13:50	0:15	K-2	中国泰山集中観測: 2006年6月中国泰山及び他の山観測地点におけるオゾン・一酸化炭素・ブラックカーボンの特徴	ポチャナート・バクボン、劉宇、金谷有剛、駒崎雄一、秋元肇(FRCGC/JAMSTEC)、王自癸(中国科学院大気物理研)
13:50	14:05	0:15	K-3	中国泰山集中観測: 全球/領域ネストモデルを用いた森林火災の影響評価	滝川雅之、庭野将徳、ポチャナート・バクボン、劉宇、金谷有剛、秋元肇(FRCGC/JAMSTEC)、高橋正明(東大CCSR)、王自癸(中国科学院大気物理研)、泰山集中観測サイエンスチーム
14:05	14:20	0:15	K-4	中国泰山集中観測: MAX-DOAS法によるエアロゾル・NO2の同時観測	入江仁士、金谷有剛、秋元肇(FRCGC/JAMSTEC)、王自癸(中国科学院大気物理研)
14:20	14:35	0:15		休憩	
				VOCs・エアロゾル	座長: 中野幸夫
14:35	15:00	0:25	K-5	植物起源の揮発性有機化合物採取分析法: 植物の生息地域と機能性化合物の放出に見られる特徴	松永壮(NCAR/ASP-ACD)、Alex Guenther(NCAR/ACD)、Jim Greenberg、Mark Potosnak(DRI)、梶井克純(首都大)
15:00	15:25	0:25	K-6	樹木によるイソプレン酸化物の吸収	谷晃、戸部 誠太、清水 幸江(東海大開発工)
15:25	15:40	0:15	K-7	2006年夏季の北海道大学苫小牧研究林における集中観測について	西田哲1,2、今川宏介3、宮本和明3、後藤優介3、松田裕明1、田島洋介4、宮崎洗治4、岡崎剛4、加藤俊吾1、梶井克純1、松永壮5、Jim Greenberg5、Alex Guenther5、日浦勉6、石井康一郎7 1.首都大院都環、2.学振特別研究員、3.首都大院工、4.都立大工、5.NCAR、6.北大北方生物圏フィールド科学センター、7.都環境研
15:40	16:05	0:25	K-8	小笠原諸島・父島エアロゾル中のジカルボン酸と関連有機物の長期変動(2001-2006): 陸起源水溶性有機物の長距離大気輸送、光化学的変質および1990-1993年との半揮発性エアロゾルのガス-エアロゾル分配変化を通じた間接的酸性化効果	河村公隆1、立花英里 1、渡辺智美1、平賀育代1、持田陸宏1,2 および所属略称、1北海道大学低温科学研究所、2現、名古屋大学高等研究院
16:05	16:20	0:15	K-9	半揮発性エアロゾルのガス-エアロゾル分配変化を通じた間接的酸性化効果	梶野瑞王(京大防災研)、植田洋匡、仲山伸次(酸性雨研究センター)
16:25	18:30	2:05		ポスター(奇数番号を中心に説明)	
18:30	20:00	1:30		大気化学研究会 運営委員会	

1月11日

				エアロゾル1	座長: 定永靖宗
9:00	9:15	0:15	K-10	2006年春季の沖縄辺戸岬における単一エアロゾル粒子のリアルタイム測定	成川正広、松見豊、高橋けんし(名大STE研)、藪下彰哲(堀場製作所)、松本淳(東工大)
9:15	9:30	0:15	K-11	中国国内と日本におけるエアロゾルイオン成分濃度の比較	畠山史郎、高見昭憲(国環研)、王偉(中国環境科学研究院)
9:30	9:45	0:15	K-12	夏季の北太平洋中央部における海洋大気エアロゾルの主要無機イオンの動態	真野佑輝、成田祥、岩本洋子、井口秀憲、植松光夫(東京大学海洋研究所)
9:45	10:00	0:15	K-13	北太平洋中央部における大気エアロゾル中の微量元素成分の挙動	井口秀憲、成田祥、真野佑輝、岩本洋子、植松光夫(東大海洋研)
10:00	10:15	0:15	K-14	On Shipboard Eddy Covariance Measurements of Turbulent Fluxes of Atmospheric Aerosols from the Sea of Okhotsk to the Arctic Ocean	(O)Frank Griessbaum(a,b)、Yasushi Narita(a)、Andreas Held(c)、Thomas Wrzesinsky(b)、Otto Klemm(b)、Mitsuo Uematsu(a) a) Ocean Research Institute、b) Institute of Landscape Ecology、Germany c) National Center for Atmospheric Research, United States
10:15	10:30	0:15		休憩	
				成層圏	座長: 齋藤尚子
10:30	10:45	0:15	K-15	きぼう曝露部搭載用超伝導サブミリ波リム放射サウンダ(JEM/SMILES)( ): プロジェクト概況と科学目標	塩谷雅人(京大生存研)、高柳昌弘(JAXA)、小池真(東大理)、菊池健一(JAXA)、笠井康子(NICT)、佐藤亮太(JAXA)、SMILESミッションチーム
10:45	11:00	0:15	K-16	テラヘルツ波リモートセンシング	笠井康子、Jana Mendrok、Philippe Baron、瀬田孝将、落合啓、入交芳久、賈迫巖(NICT)
11:00	11:15	0:15	K-17	ポーカークラウド上空で観測したO3、HNO3、HCl、HFの季節変動と誤差評価	香川晶子(富士通エフ・アイ・ピー)、笠井康子(NICT) Nicholas Jones(Wollongong Univ.) 山森美穂(都留文科大学) 村山泰啓(NICT)
11:15	11:30	0:15	K-18	地上分光観測からの高度分布導出のための光学系の改善とその効果	村田 功(東北大・環境)、中島 英彰(環境研)、福西 浩(東北大・理)
11:30	11:45	0:15	K-19	陸別ミリ波放射計で観測された成層圏オゾンの短期変動解析	松浦真人、長濱智生、水野亮(名大STE研)、中根英昭、藤沢康実(国立環境研)、森平淳志(ULVAC)、小川英夫(大阪府大)、福井康雄(名大理)
11:45	12:00	0:15	K-20	チリアタカマにおけるH218Oの地上ミリ波観測	杉本朋世、水野亮、長濱智生、前澤裕之、桑原利尚、松浦真人(名大STE研)、森平淳志(ULVAC)、水野範和、大西利和、福井康雄(名大理)、小川英夫、米倉覚則(大阪府大)
12:00	13:15	1:15		昼食	
				力学・モデル1	座長: 滝川雅之
13:15	13:30	0:15	K-21	対流圏オゾン変動の気候影響評価: 化学気候モデル実験による初期結果	須藤 健悟(名大院、FRCGC/JAMSTEC)、秋元肇(FRCGC/JAMSTEC)

13:30	13:45	0:15	K-22	気候モデルを用いた20世紀気候再現実験に見られる中国での日射量変化	永島達也、野沢徹(環境研)、早坂忠裕、河本和明(地球研)
13:45	14:00	0:15	K-23	2100年までのオゾン層将来予測実験	秋吉英治、坂本圭、永島達也、今村隆史(国立環境研)
14:00	14:25	0:25	K-24	気象研究所・化学-気候モデルによる成層圏オゾンの過去再現と将来予測実験	柴田清孝、出牛真(気象研究所)
14:25	14:40	0:15		休憩	
				力学・モデル2	座長: 江口菜穂
14:40	14:55	0:15	K-25	太陽11年周期変動に対応する熱帯下部成層圏オゾンの変動に関する解析	坂本圭、秋吉英治、永島達也、L.B.Zhou(国立環境研究所)、高橋正明(東京大学気候システム研究センター)
14:55	15:10	0:15	K-26	熱帯中部太平洋クリスマス島(2N,157W)でみられた対流と結合したKelvin波にともなうオゾン・水蒸気変動	高島久洋、塩谷雅人(京大生存圏)、藤原正智(北大地球環境)、西憲敬(京大院理)、長谷部文雄(北大地球環境)
15:10	15:25	0:15	K-27	対流圏オゾンの熱帯域マッデン・ジュリアン振動	須藤 健悟(名大院、FRCGC/JAMSTEC)
15:25	16:10	0:45		大気化学研究会 会員総会	
16:10	16:30	0:20	K-28	奨励賞受賞講演 (大気中半揮発性有機化合物の採取分析法開発およびイソプレン分解生成物のエアロゾル成分としての全球的寄与推定への応用)	松永壮
16:30	16:50	0:20	K-29	奨励賞受賞講演 (測定の標準化と観測の統合化に基づく地表オゾンの時空間変動に関する化学輸送モデル解析)	谷本浩志
16:50	19:00	2:10		ポスター(偶数番号を中心に説明)	
19:00	21:00	2:00		懇親会	

1月12日

				エアロゾル2	座長: 持田陸宏
9:00	9:25	0:25	K-30	Laser-induced incandescence (LII)によるBCの被覆状態測定法の開発と、都市plume中におけるBC被覆進行速度の解析	茂木信宏1、近藤 豊1、竹川暢之1、宮崎雄三1、駒崎雄一2、倉田学児3、白井知子4、D. R. Blake5、宮川拓真1、小池 真6 1: 東大先端研、2: 海洋研究開発機構、3: 豊橋技科大、4: 国立環境研、5: University of California, Irvine、6: 東大理学部
9:25	9:40	0:15	K-31	東京の下流域におけるBC混合状態の時間変化	白岩学、近藤豊、茂木信宏、竹川暢之、宮崎雄三、宮川拓真、児玉大輔(東大先端研)、D.R.Blake(UC Irvine)、金谷有剛(地球フロンティア)
9:40	9:55	0:15	K-32	大気エアロゾル粒子の吸湿成長測定に基づいたその雲凝結核能の評価: エアロゾルの組成および混合状態の影響評価	北森康之(北大院地環研 D3)、持田陸宏(名大高等院)、河村公隆(北大低温研)
9:55	10:10	0:15	K-33	都市大気エアロゾルの雲凝結核能と揮発性の関係	桑田幹哲(東大先端研) 持田陸宏(北大低温研) 近藤豊(東大先端研) 竹川暢之(東大先端研) 河村公隆(北大低温研)
10:10	10:35	0:25	K-34	エアロゾル質量分析計のm/z 44信号に対する低分子ジカルボン酸の寄与	竹川暢之1、宮川拓真1、河村公隆2、近藤豊1
10:35	10:50	0:15	K-35	トルエンの光酸化で生成するエアロゾル組成の初期NOx濃度依存	佐藤圭、畠山史郎、今村隆史(国環研)
10:50	11:05	0:15		休憩	
				温室効果気体	座長: 白井知子
11:05	11:20	0:15	K-36	波照間島で観測される代替フロン類の季節変動および経年変化	横内陽子、齊藤拓也、向井人史(国立環境研)
11:20	11:35	0:15	K-37	GOSAT/TANSO-FTS熱赤外領域でのCO2濃度導出手法	齋藤尚子(東大気候システム)、太田芳文(国環研)、田口彰一(産総研)、今須良一(東大気候システム)
11:35	11:50	0:15	K-38	SCIAMACHYセンサによるメタンデータと地上観測データの比較解析	有山悠子(奈良女子大・理) 林田佐智子(奈良女子大・理) 野口克行(奈良女子大・理) 中澤高清(東北院・理) 青木周司(東北大院・理) 菅原敏(宮城教育大) 町田敏暢(国立環境研究所) Christian Frankenberg (the Netherlands Institute for Space Research(SRON))
11:50	12:05	0:15	K-39	大気中N2O濃度の年々変動について ~ 観測値とAGCM計算結果の解析 ~	石島健太郎、Prabir. K. Patra、滝川雅之、宮崎和幸(FRCGC)、中澤高清(東北大・FRCGC)
12:05	12:20	0:15	K-40	民間航空機を利用した温室効果気体の観測 -1年間の試験観測の結果について-	町田敏暢(環境研)、松枝秀和、澤庸介(気象研)、中川由起夫、池田肇(JAL)、近藤直人(JAMCO)、中澤高清(東北大)、岡孝秀(日航財団)

第17回大気化学シンポジウム プログラム

ポスター発表

掲示可能期間: 第1日目(1月10日)の昼12:00 ~ 第2日目(1月11日)の19:30

コアタイム1: 第1日目(1月10日)16:25 - 18:30 (奇数番号を中心に説明)

コアタイム2: 第2日目(1月11日)16:50 - 19:00 (偶数番号を中心に説明)

要旨集  
ページ

P-1	きぼう曝露部搭載用超伝導サブミリ波リム放射サウンダ(JEM/SMILES)(II):ペイロード開発状況とパフォーマンス	菊池健一、佐藤亮太、西堀俊幸、水越和夫(JAXA)、尾関博之(東邦大)、落合啓(NICT)、瀬田益道(筑波大)、真鍋武嗣(大阪府大)、SMILESミッションチーム	
P-2	きぼう曝露部搭載用超伝導サブミリ波リム放射サウンダ(JEM/SMILES) ( ):リトリーバルシミュレータの開発とその検証	高橋(NICT/JAXA)、笠井、Baron、入交、落合(NICT)、元木(北大)、Urban(Chalmers Univ.)、SMILESミッションチーム	
P-3	きぼう曝露部搭載用超伝導サブミリ波リム放射サウンダ(JEM/SMILES) ( ):データ解析アルゴリズム開発	笠井(NICT)、Baron(NICT)、Urban(NICT)、Mendrok(NICT)、瀬田(NICT)、落合(NICT)、高橋(NICT/JAXA)、西堀(JAXA)、SMILESミッションチーム	
P-4	きぼう曝露部搭載用超伝導サブミリ波リム放射サウンダ(JEM/SMILES)( ):SMILES観測精度	笠井(NICT)、高橋(NICT)、Urban(Chalmers Univ.)、稲谷(JAXA)、西堀(JAXA)、尾関(Toho Univ)、瀬田(筑波大)、真鍋(大阪府大)、三浦(JAXA)、SMILESミッションチーム	
P-5	きぼう曝露部搭載用超伝導サブミリ波リム放射サウンダ(JEM/SMILES)(VI)輝度温度導出処理とその精度	落合啓(NICT)、尾関博之(東邦大)、西堀俊幸、菊池健一(JAXA)、真鍋武嗣(大阪府大)、SMILESミッションチーム	
P-6	きぼう曝露部搭載用超伝導サブミリ波リム放射サウンダ(JEM/SMILES) ( ):The impact of ice clouds on retrieval of ozone and chlorine compounds in the UTLS from SMILES data - an error analysis	J. Mendrok(NICT), P. Baron(NICT), and Y. Kasai(NICT), and JEM/SMILES Mission Team	
P-7	きぼう曝露部搭載用超伝導サブミリ波リム放射サウンダ(JEM/SMILES)( ):サブミリ波大気吸収特性の実験室測定	瀬田 孝将.1, 保科 宏道.2, 笠井 康子.1, 寶迫 巖.1, 大谷 知行.2, Stefan Lossow.3, Joachim Urban.4, Mattias.4, Patrik Erinksson.4, Donal Murgth.4, 1.情報通信研究機構 2.理化学研究所 3.ストックホルム大学 4.チャルマース工科大学	
P-8	きぼう曝露部搭載用超伝導サブミリ波リム放射サウンダ(JEM/SMILES)( ):水蒸気同位体圧力幅係数の測定	古川由紀子(東京理科大学、NICT)、瀬田孝将(NICT)、笠井康子(NICT)、寶迫巖(NICT)、築山光一(東京理科大学)	
P-9	きぼう曝露部搭載用超伝導サブミリ波リム放射サウンダ(JEM/SMILES) ( ):strategy for retrieving mid-atmospheric profiles from weak emission lines - demonstration with the Odin/SMR HO2 measurements-	P. Baron and Y. Kasai (NICT), D. P. Murtagh, J. Urban, P. Eriksson and M. Olberg (Chalmers University of Tecnology)	
P-10	きぼう曝露部搭載用超伝導サブミリ波リム放射サウンダ(JEM/SMILES)(XI):気球搭載型 SMILES による成層圏微量分子の観測	入交芳久、落合啓、笠井康子(NICT)、山上隆正、斎藤芳隆、飯嶋一征、井筒直樹、並木道義(ISAS/JAXA)、富川善弘(極地研)、佐藤薫(東大)、村田功(東北大)、SMILES ミッションチーム	
P-11	ラジオゾンデ搭載用鏡面冷却型水蒸気計(Snow White)を用いた上部対流圏の水蒸気観測-衛星観測データとの比較-	江口菜穂、横田達也(環境研)、藤原正智、長谷部文雄(北大・地球)	
P-12	熱帯対流圏界層(TTL)内における水蒸気match解析	稲飯洋一(北大・環境科学院)、長谷部文雄、藤原正智(北大・地球環境科学研究所)、塩谷雅人(京都大学・生圏)、西憲敬(京都大学・理)、荻野慎也(海洋研究開発機構・環境研)、Holger Voemel(NOAA/コロラド大学)	
P-13	南米チリ22GHz帯水蒸気ラジオメータの開発	桑原利尚、水野亮、長濱智生、前澤裕之、杉本朋世、松浦真人(名大STE研)	
P-14	小型ミリ波大気微量分子観測装置の開発	土岐一貴、水野亮、長濱智生、前澤裕之(名古屋大学STE研)、鳥山哲司、児島康介、鈴木和司(名古屋大学全学技術センター)、森平淳志(ULVAC Inc.)	
P-15	陸別FTIRデータによるO3、HNO3の高度分布解析	村山智史、長濱智生、松浦真人、水野亮(名大STE研)	
P-16	チリ共和国アタカマ高地におけるミリ波地上大気分子観測の現状	水野亮、長濱智生、前澤裕之、桑原利尚、杉本朋世、松浦真人、村山智史、土岐一貴、鳥山哲司、児島康介(名大STE研)、森平淳志(アルバック)、水野範和、大西利和、山本宏明、川瀬徳一、福井康雄(名大理)	
P-17	南米チリ22GHz帯水蒸気ラジオメータの観測精度評価	長濱智生、水野亮、前澤裕之、桑原利尚、杉本朋世、松浦真人(名大STE研)	
P-18	地球大気OHラジカルリモート計測のためのTHz波ヘテロダイン検出素子の開発	前澤裕之、水野亮、長濱智生(名大STE研)、山本智、新保謙、芝祥一(東京大学理・物)、中井直正、山倉鉄矢(筑波大学数理)	
P-19	RDF (Reverse Domain Filling)トラジェクトリを用いたオゾン全量予測の試み	香川晶子(富士通エフ・アイ・ピー) 黒川純一、中根英昭(環境研)	
P-20	太陽活動の27日周期変動が中層大気に及ぼす影響:QBO及び太陽11年周期変動の影響を含んだシミュレーション	関山剛(気象研)、Anne Smith、Dan Marsh、Katja Matthes(NCAR)	
P-21	南極オゾンホール開始時期(ドブソン分光光度計によるオゾン全量データの解析)	忠鉢繁(気象研)	
P-22	太陽大気吸収スペクトルの導出方法の検討:高分解能FTIR測定データの適用例	大山博史(神戸大院、国立環境研)、森野勇、青木忠生、横田達也(国立環境研)、岩木敏幸、荒谷修(情報数理研)	
P-23	GOSAT-BBMを用いた2006年秋季筑波山観測	田中智章、齊藤龍、吉田幸生、小熊宏之、森野勇、町田敏暢、下山宏(国環研)、原熙(JATIS)、井上元(名大)、横田達也(国環研)	

P-24	GOSAT による二酸化炭素カラム量導出法の検討～氷晶非球形散乱を考慮した場合～	吉田幸生、横田達也(国立環境研)
P-25	酸素0.76ミクロン帯(A-band)における吸収線パラメータの測定	○熊沢亮一、三橋和成、渡邊猛(東レリサーチセンター)、深堀正志(気象大学校)
P-26	母子理におけるFTIR観測と地上混合比観測から推定したCO <sub>2</sub> 、C <sub>2</sub> H <sub>6</sub> 、C <sub>2</sub> H <sub>2</sub> の高度分布について	鈴木勝久(横浜国大教育人間)、加藤俊吾、梶井克純(首都大学東京)、松見豊(名大STE研)
P-27	ポーカークラフトFTIRによる対流圏COの観測	照沼陽子(茨城大学、NICT)・香川晶子(NICT)・笠井康子(NICT)・北和之(茨城大学)・水谷耕平(NICT)・村山泰啓(NICT)
P-28	広域大気汚染衛星センサ研究の進捗について	鈴木 睦(ISAS/JAXA)、塩見 慶、川上修司(EORC/JAXA)、奥村真一郎(スペースガード協会)、北 和之(茨城大理)
P-29	量子化学計算による代替フロンへの反応性および赤外吸収スペクトルの検討	木暮武博(東大院工)、菅野望(東大環安セ)、戸野倉賢一(東大環安セ)
P-30	Snowpack Chemistryの南極オゾン濃度への影響	川中昇、飯田大輔、羽馬哲也、藪下彰啓、川崎昌博(京大院工)、Dudley E. Shallcross、Paul D. Hamer(School of Chemistry, University of Bristol)
P-31	対流圏における新たなXOラジカルサイクルの発見	山中崇嗣、江波進一、中山智喜、橋本訓、川崎昌博(京大院工)
P-32	ジメチルスルフィドの夜間酸化過程～NO <sub>3</sub> とDMSの反応の温度・圧力依存性について～	中野幸夫、石渡孝(広島市大・情報)、Simone Aloisio(California State University)、川崎昌博(京大・工)
P-33	スモッグチャンパー/FT-IR法によるケトンの大気反応生成物の解析	○岩崎 絵利果、高橋 けんし、松見 豊(名大院理、名大STE研) M. D. Hurley、T.J. Wallington(フォード自動車)
P-34	ヨウ素エアロゾルの化学・光学特性に関する実験的研究	中山智喜1、坂本陽介1、藪下彰啓1、橋本訓1、川崎昌博1、成川正広2、松見豊2(1.京大院工、2.名大STE研)
P-35	レーザーイオン化個別粒子質量分析計による標準粒子の質量スペクトル	成川正広、松見豊、高橋けんし(名大STE研)、藪下彰啓(堀場製作所)
P-36	HOxラジカルの不均一反応実験:エアロゾルフローチューブ/LIF法に基づく装置製作と測定	竹谷文一、金谷有剛、秋元肇(地球環境フロンティア研究センター・FRCGC/JAMSTEC)
P-37	クリスチャンセン帯域を用いた巨大粒子のキャラクタリゼーション	佐藤 優、瀬戸口修(産総研)
P-38	揮発性有機化合物の一光子及び多光子イオン化質量分析法による検出	菅野望(東大環安研セ)、藪下彰啓((株)堀場製作所)、川崎昌博(京大院工)、戸野倉賢一(東大環安研セ)
P-39	キャピティールリングダウン分光法を用いたシクロヘキサジエニルラジカルの検出と反応	志賀 雄高(東大院工)、戸野倉 賢一(東大環安研セ)、越 光男(東大院工)
P-40	連続光キャピティールリングダウン分光法を用いたH <sub>2</sub> O吸収線の圧力広がり測定	福田久人、中山智喜、橋本訓、川崎昌博(京大院工)、森野勇(国立環境 研)、井上元(名大院環境)
P-41	近赤外レーザー分光法による微量気体の高感度検出	小林 尚人(東大院・工)、菅野 望、戸野倉 賢一(東大・環安研センター)
P-42	青紫色LEDを利用した小型大気NO <sub>2</sub> 計測装置の開発	川合恵巳、高橋けんし、松見豊(名大院理・名大STE研)、竹谷文一(地球環境フロンティア研究センター)
P-43	大気中粒子状硝酸塩の測定システムの開発	定永靖宗(*1)、川上純一(*1)、山本匡利(*2)、竹中規訓(*1)、坂東博(*1) *1 阪府大院工 *2 兵庫県立健康研
P-44	都市大気中での硝酸及び硝酸塩エアロゾルの生成・消失過程	森野悠1、近藤豊1、菅田誠治2、大原利真2、竹川暢之1、駒崎雄一3、福田真人1、宮川拓真1、北和之4(1東大先端研、2国立環境研、3海洋研究開発機構、4茨城大理)
P-45	無機塩エアロゾルの有効密度と雲凝結核能の測定	桑田幹哲 近藤豊(東大先端研)
P-46	ブラックカーボンの物理化学的変容・湿性沈着過程を表現したモデルの開発とその検証	大島 長(東大院理)、小池 真(東大院理)、Y. Zhang(ノースカロライナ大)、近藤 豊(東大先端研)、茂木信宏(東大先端研)、宮崎雄三(東大先端研)、竹川 暢之(東大先端研)、駒崎雄一(海洋研究開発機構)
P-47	豊川におけるNO、NO <sub>2</sub> 、N <sub>2</sub> O <sub>5</sub> およびO <sub>3</sub> 同時観測 日没直後のNO <sub>3</sub> の反応消失過程	井出智幸1、中山智喜2、竹谷文一3、川合恵巳1、松本淳4、高橋けんし1、松見豊1(1名大院理・名大STE研、2京大院工、3地球フロンティア、4東工大統合研究院)
P-48	Long-range transport of organic aerosol from continental origin to Cape Hedo, Okinawa	Lun Xiaoxiu, Akinori Takami(NIES), Takao Miyoshi(RIHN), Shiro Hatakeyama(NIES)
P-49	FTIR観測によるシベリア森林火災における発生気体量比	長浜 芳寛、鈴木 勝久(横浜国立大)
P-50	沖縄辺戸岬における大気エアロゾル中に含まれる硝酸塩の季節変動	滝口善洋(筑波大)、高見昭憲(国環研)、定永靖宗、川上純一、坂東博(大阪府大) 畠山史郎(国環研、筑波大)
P-51	波照間島で観測される高濃度塩化メチルと気象要因の解析	長島義斉、横内陽子、斎藤拓也、向井人史(国立環境研)
P-52	与那国島および南鳥島における大気中ラドンの濃度変動について	和田 晃(気象大) 澤 庸介(気象研) 松枝 秀和(気象研) 堤之智(気象庁) 坪井 一寛(気象庁)
P-53	夏季の北太平洋のDMSとDMSPの分布 KM04-15、KH06-2、MR06-04の結果から	永尾一平(名大環境)、植松光夫(東大海洋研)
P-54	夏季に父島で観測される巨大粒子数濃度の日変動	古賀聖治(産総研)
P-55	大気の混合によるSPM、COの濃度低下とバックグラウンド濃度	大西将徳、酒井敏(京大、人環)

P-56	黄砂と思われる上空8km付近を高速で移動するエコーの解析	牧田広道(高松地方気象台)	
P-57	中国での都市郊外域でのオゾン・窒素酸化物の観測結果	北 和之、宮下修二、佐藤亮(茨城大理)、近藤豊、小池真、竹川暢之、宮崎雄三(東京大)	
P-58	中国泰山集中観測:2006年6月中国泰山でのキャニスターサンプリングによるVOC測定結果の特徴	スタワリー ジーラナット、加藤俊吾、梶井克純(首都大都市環境)、奥沢和浩、河村公隆(北大低温研)、金谷有剛、秋元肇(FRCGC/JAMSTEC)王自発(中国科学院大気物理研)	
P-59	中国泰山集中観測:CMAQによるガス・エアロゾル成分の再現性の検証	山地一代(FRCGC/JAMSTEC)、大原利真(NIES)、鶴野伊津志(九大)、劉宇、金谷有剛、ボチャナート・バクボン、駒崎雄一、秋元肇(FRCGC/JAMSTEC)、王自発(中国科学院大気物理研)、泰山集中観測サイエンスチーム	
P-60	中国泰山集中観測: ブラックカーボン計測の相互比較	駒崎雄一、金谷有剛、ボチャナート・バクボン、劉宇、秋元肇(FRCGC/JAMSTEC)、奥沢和浩、河村公隆(北大低温研)、王自発(中国科学院大気物理研)	
P-61	3次元モデルを用いた都市大気中の2次有機エアロゾルの変動過程について	松井 仁志、小池 真(東大院理)、近藤 豊、竹川 暢之、宮川 拓真(東大先端研)、大原 利真、菅田 誠治(国立環境研)	
P-62	CMAQ/REASを用いた東アジアにおける対流圏オゾンの将来予測	山地一代(FRCGC/JAMSTEC)、大原利真(NIES)、鶴野伊津志(九大)、黒川純一(NIES)、秋元肇(FRCGC/JAMSTEC)	
P-63	都市スケール化学天気予報システムの開発: 2005-2006年6-8月の過去予報実験における海陸風変動	○庭野 将徳1、滝川 雅之1、秋元 肇1、高橋 正明1,2、手柴 充博3 (1, 海洋研究開発機構 地球環境フロンティア研究センター 2, 東京大学気候システム研究センター 3, オクラホマ大学)	
P-64	東アジアにおけるハロカーボン放出・輸送シミュレーション -フォワード計算-	白井知子、菅田誠治、横内陽子(国立環境研究所)	
P-65	オープンパスFTIR分光法を用いたガスフラックス測定 - 微気象学的方法への応用 -	榎本隆典、及川真彰、中繁健志、吉村季織、青木正敏、高柳正夫(東農工大)	
P-66	オープンパスFTIR分光法を用いたガスフラックス測定 - クローズドチャンバー法によるメタン発生量の観測 -	中繁健志、及川真彰、榎本隆典、吉村季織、須永薫子、候紅、本林 隆、渡辺裕純、豊田剛己、西村 拓、細見正明、高柳正夫(東農工大)	
P-67	Fitting the ecosystem model parameters to observed seasonal cycle of atmospheric CO2	Yumiko Nakatsuka, Nickolay Kadygrov, and Shamil Maksyutov (NIES)	